

クラウド利用形態の現実解 適材適所でクラウドを使い倒す ハイブリッドクラウドのすすめ

2012年3月2日

株式会社アプレッソ

技術部長 テクニカルエバンジェリスト

友松哲也

(tomomatsu@appresso.com)



「つくる」から「つなぐ」をコンセプトに データ連携のソリューションを展開

株式会社アプレッソ

事業内容 日本発 パッケージソフトウェアの開発・販売・サポート

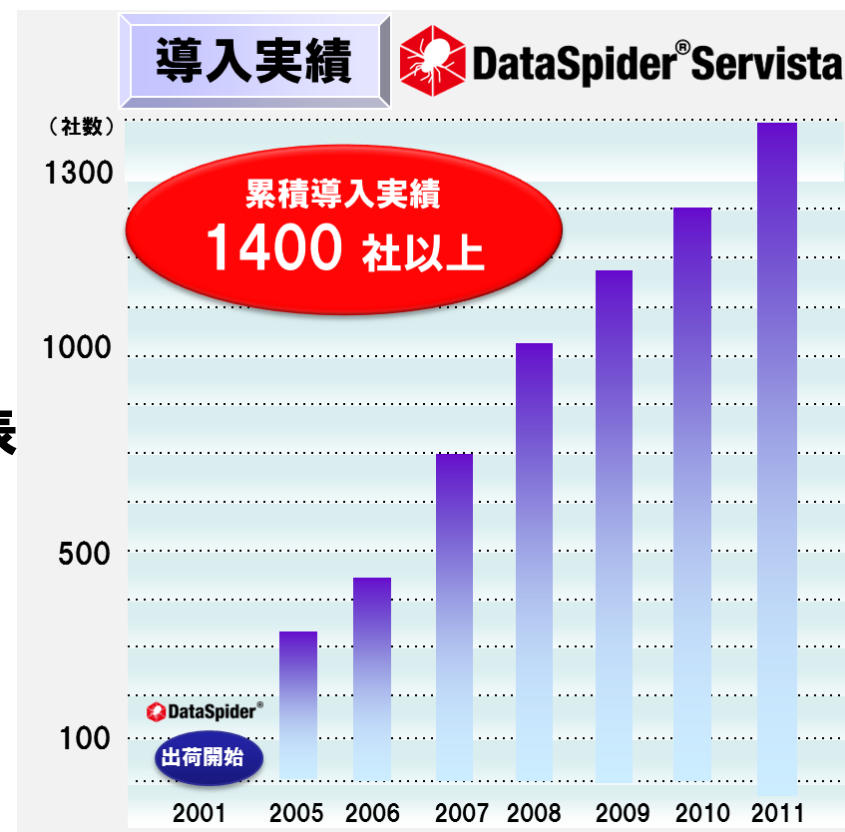
2001年 データ連携ソフト
DataSpider提供開始

2009年 スケジュール連携 PIMSINC

2010年 クラウド連携戦略
DataSpiderクラウドビジョン発表

2010年 EAI連携可能なBPMS
DataSpiderBPM 提供開始

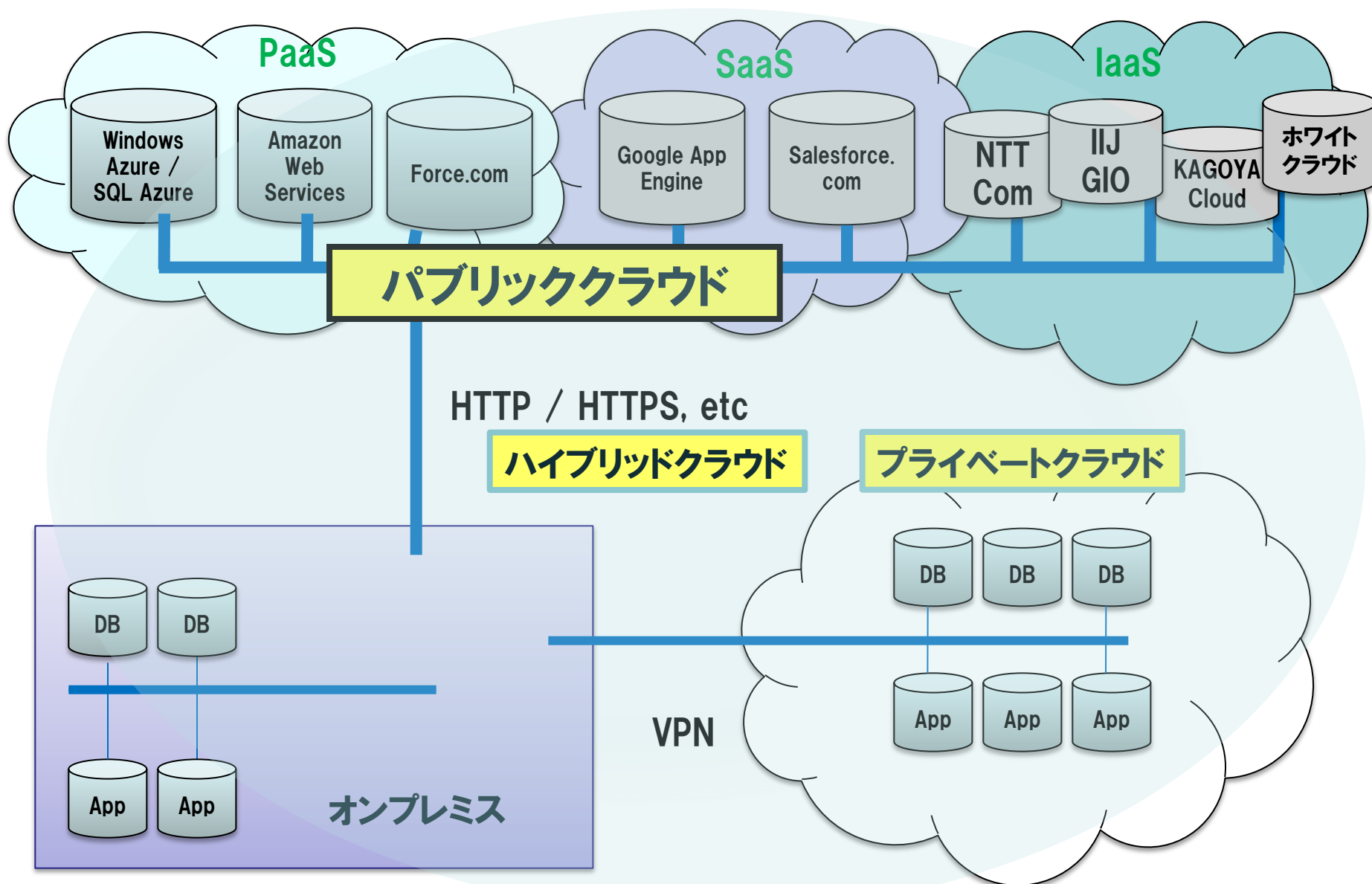
2011年 クラウドにフォーカスした最新版
DataSpider 3.0 提供開始



製品ラインナップ

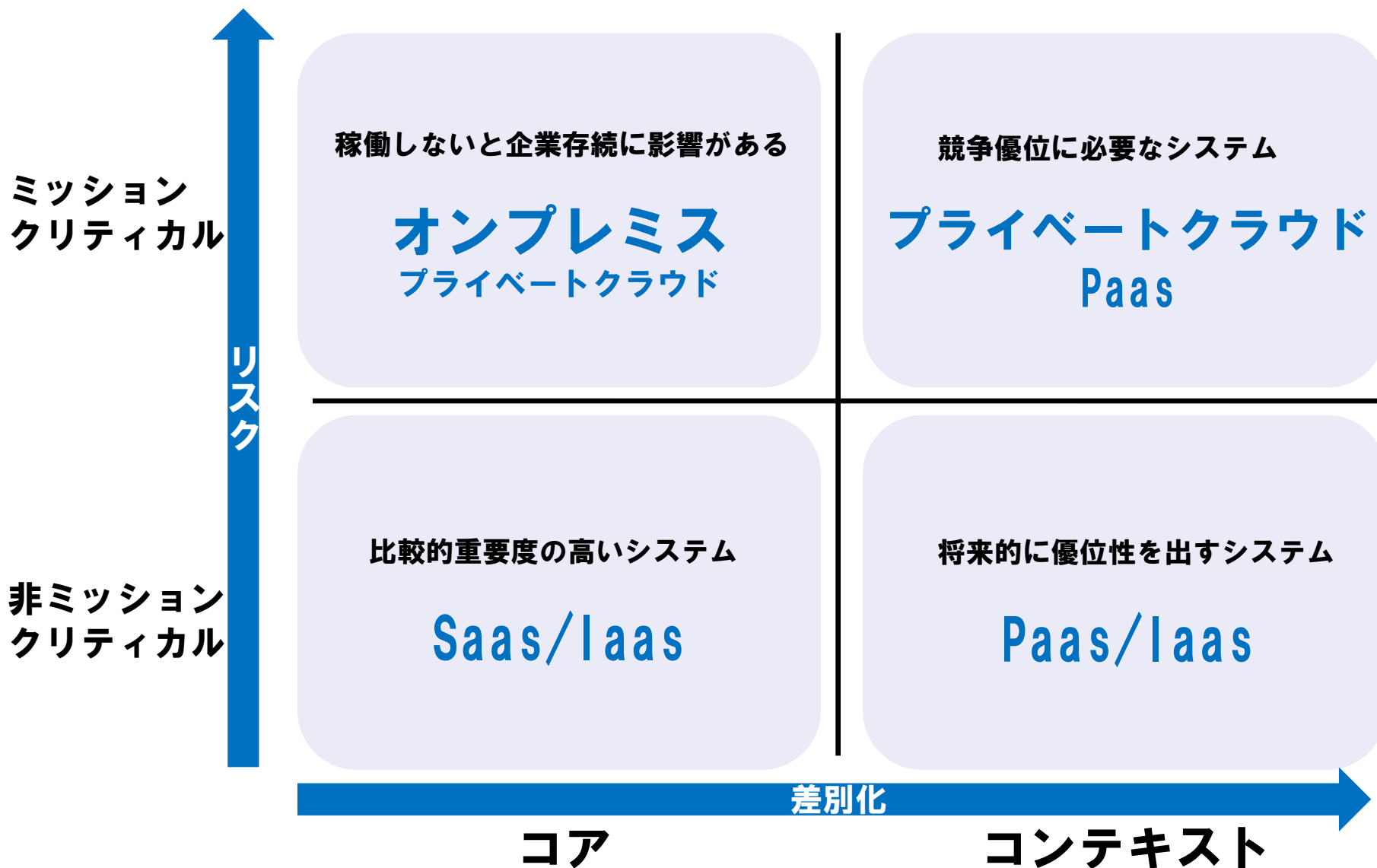
「つなぐ」をコンセプトにした3つのソフトウェア(ミドルウェア)

レイヤー	製品	適用
高機能		
クラウド・データ システム連携(EAI)	 DataSpider® Servista	データ連携のサービス開発 GUIベース、豊富なアダプタ 高速処理とクラウド連携
ビジネスプロセス連携	 DataSpider® BPM	ヒューマンセントリックな 次世代BPMシステム Webブラウザ対応 DataSpiderとも連携
スケジュール連携	 PIMSYNC	異種スケジューラの混在 予定とTodoを自動同期 マルチ、双方向連携
シンプル		



	パブリッククラウド	プライベートクラウド	オンプレミス
場所	インターネット	イントラネット	企業内
インフラ	標準化されている	標準化されているが 独自に拡張可能	選択可能
SLA	クラウドプロバイダが 提供	企業で設定可能	
データ保存先	クラウドプロバイダの データセンター	自社データセンター	
特性	汎化 ←-----→ 特化		

ハイブリッドクラウド



ハイブリッドクラウド実現への壁

- 既存システムとクラウドの使い分けと連携
- 既存システムとの切り離しができない
- 先行導入したクラウドサービスとの連携
- 効果的なクラウドの活用方法の検討



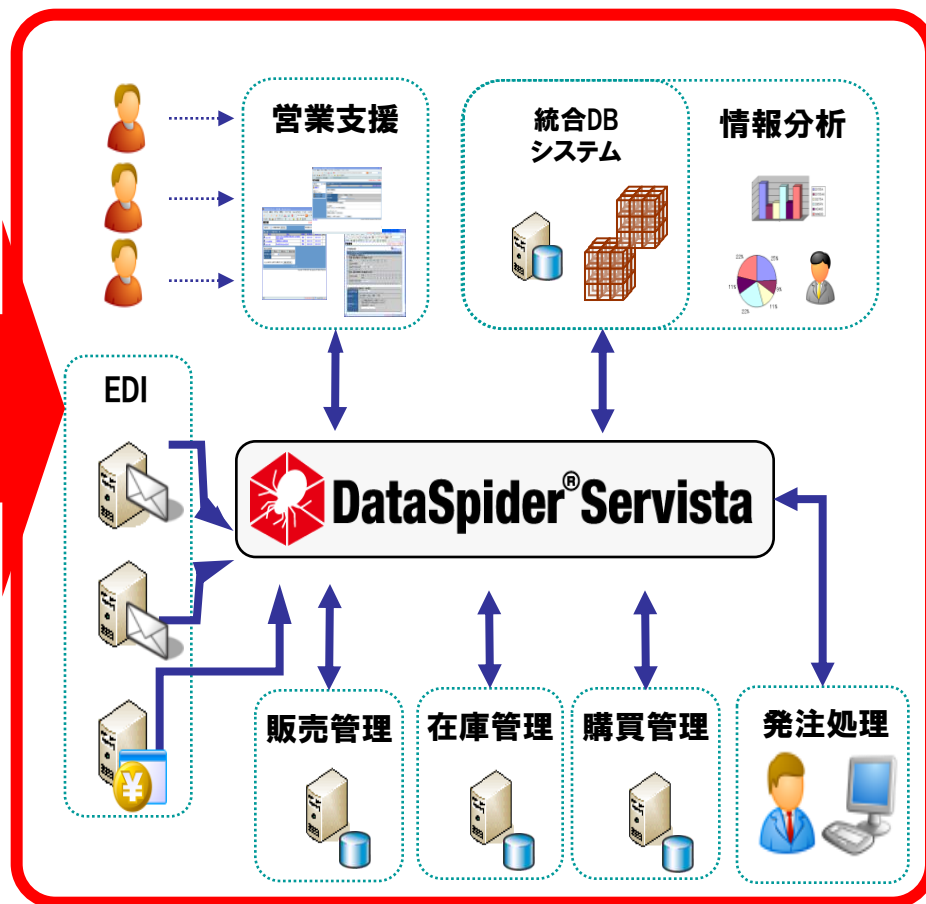
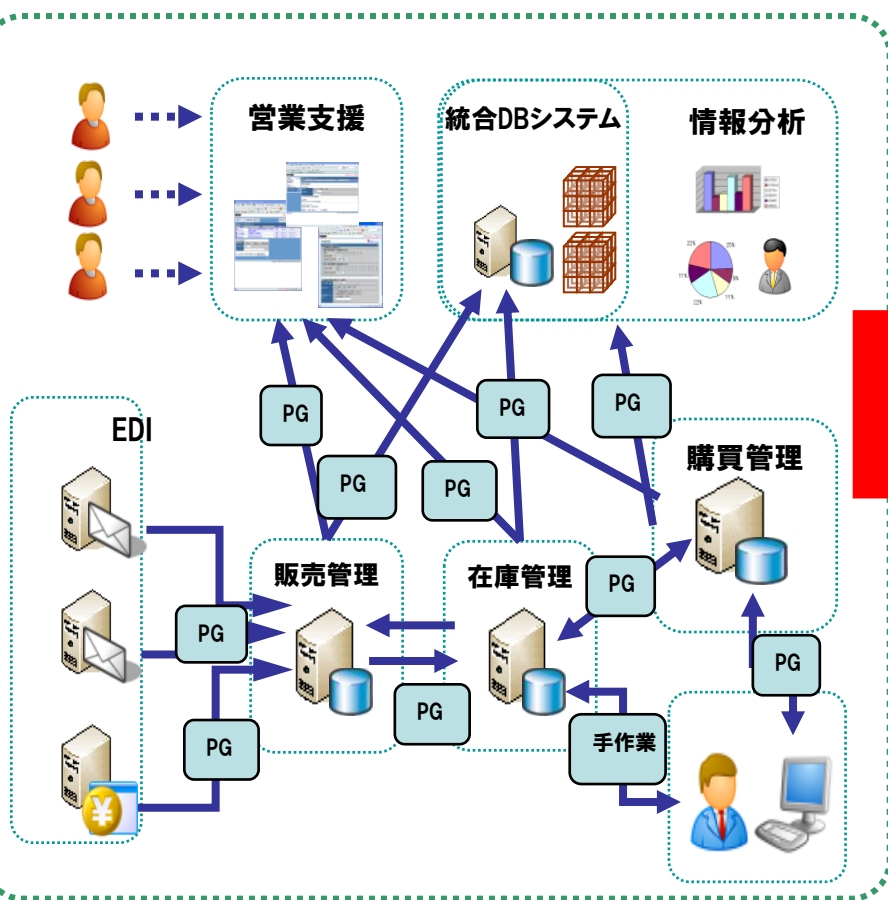
① システムの”複雑化”からの脱却

② 部分クラウド化

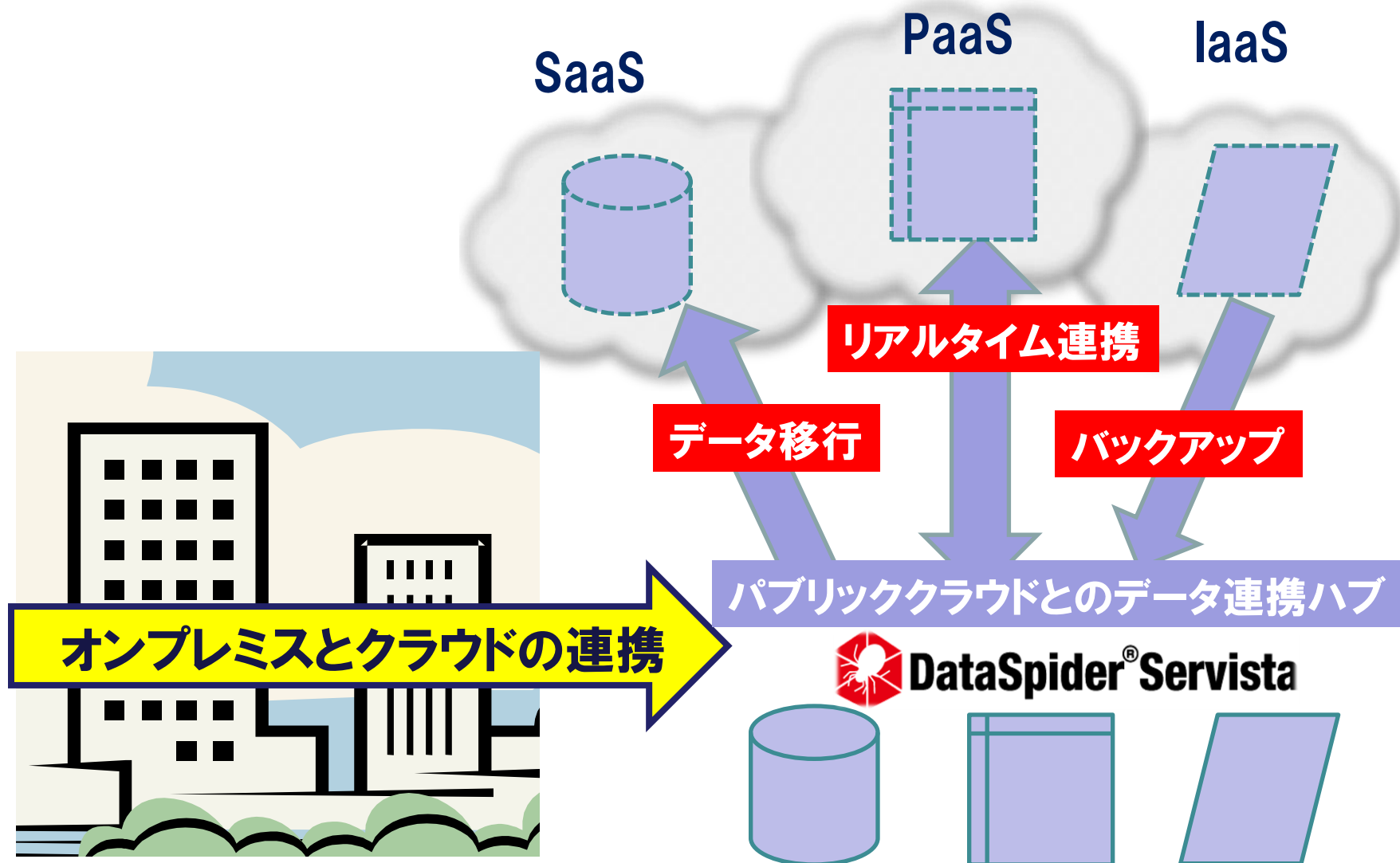
③ 適材適所”ハイブリッドクラウド”

システムやデータの種類ごとに
個別のプログラム開発、データ変換

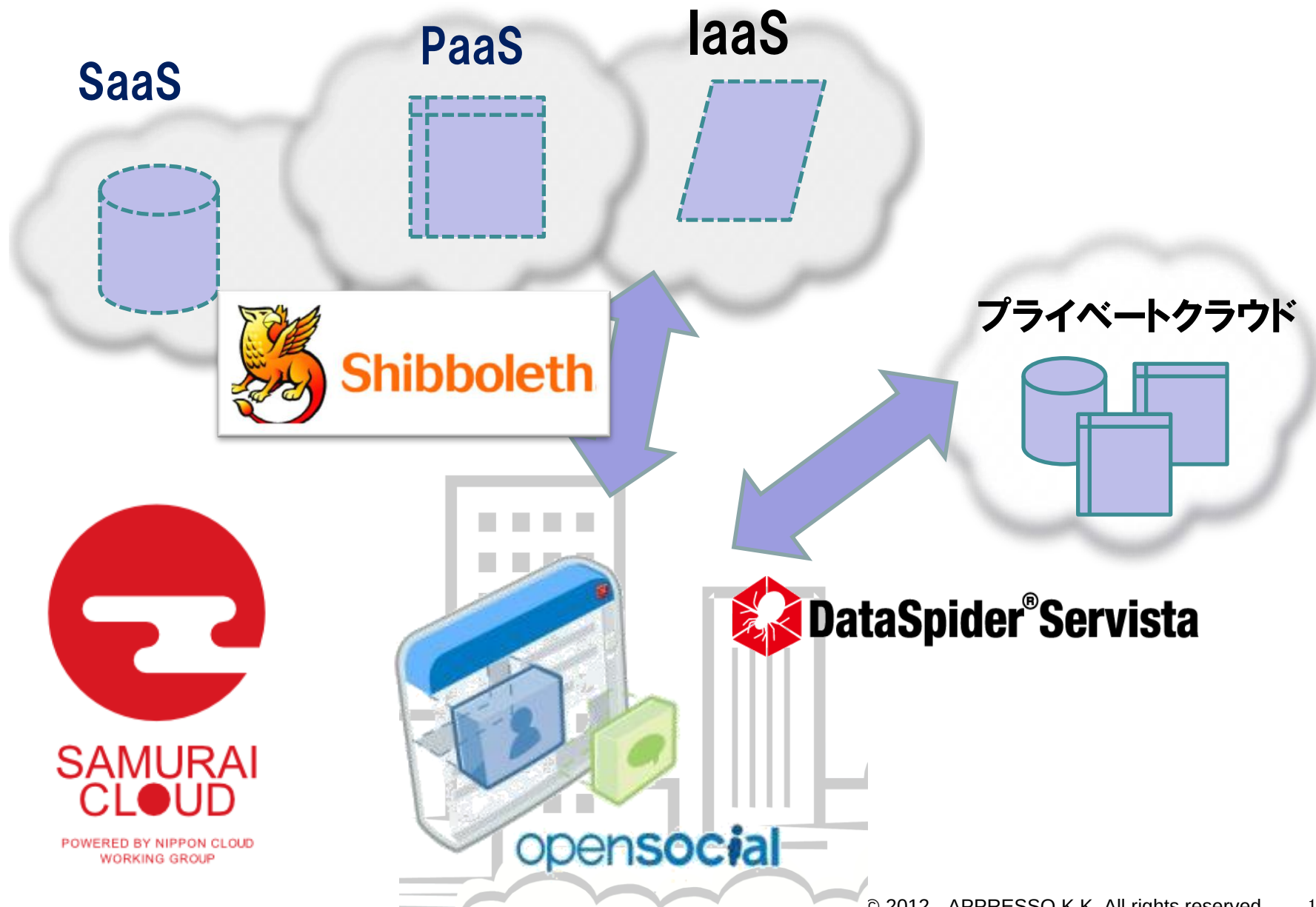
データの相互連携ハブで
開発コストを削減し、運用管理も容易



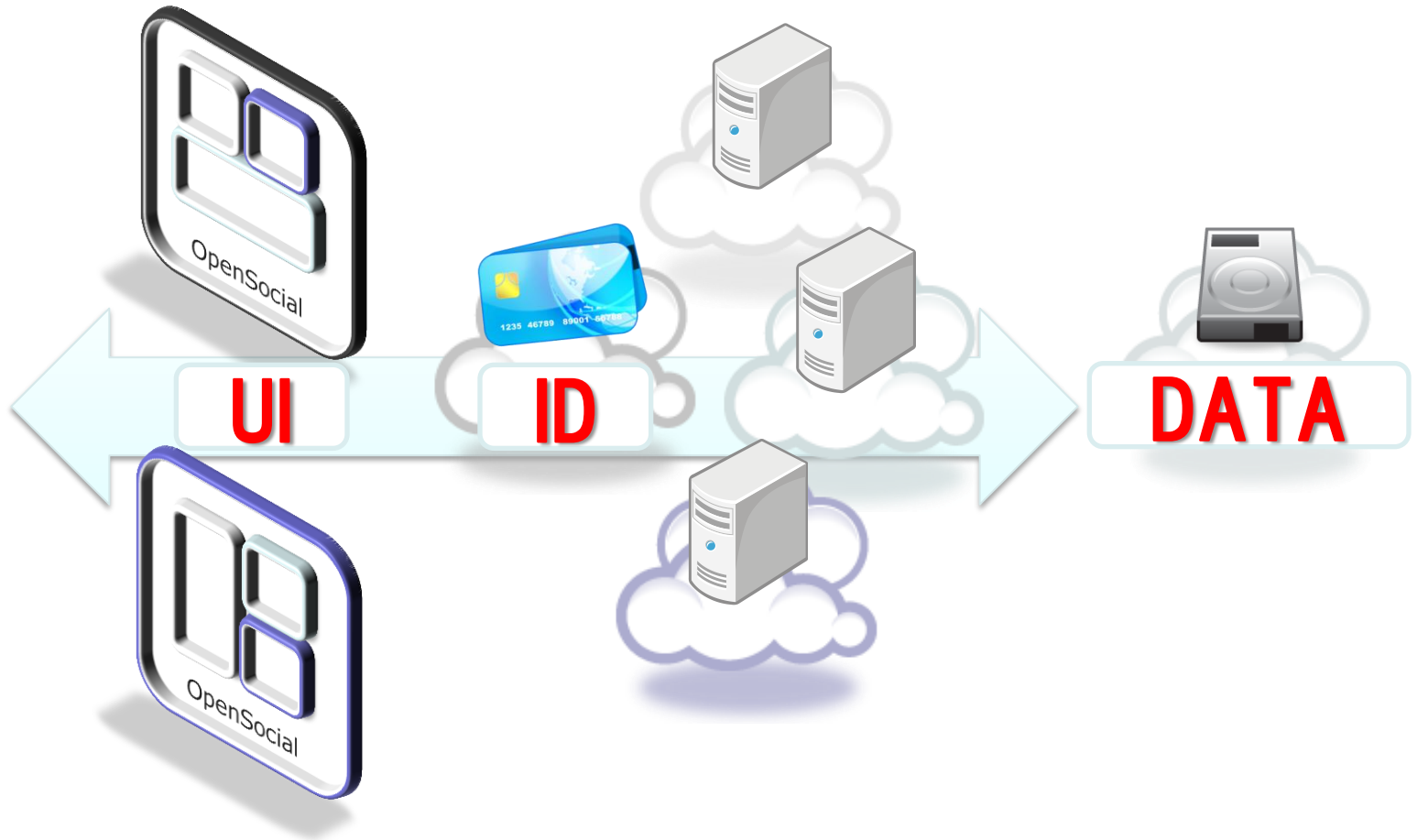
② 部分クラウド化



クラウド活用3つのステップ ③適材適所 ハイブリッドクラウド



サムライクラウド連携イメージ



ご清聴ありがとうございました。